

健康ぷらざ

No.154

企画:日本医師会

15歳から24歳の方へ

風しんの予防接種を 受けましょう

風しんの予防接種を受けていない人がまだ多数います。

予防接種法の改正で、接種年齢が中学生女子から

生後12カ月〜90カ月の男女に変更され、

昭和54年4月2日生まれ〜昭和62年10月1日生まれの方

(現在、15歳〜24歳)の接種率が特に低いのが現状です。

経過措置により、公費負担でしばらくその推進が図られて

きましたが、平成15年9月30日でその期限が終了します。

妊娠早期に女性が風しんに感染すると、

生まれてくる子どもに、白内障・心疾患・難聴などの

先天性異常(先天性風しん症候群)が

発生する可能性が高くなります。未接種者は

この機会にぜひ風しんの予防接種を受けましょう。



15〜24歳

昭和54年4月2日生まれ〜
昭和62年10月1日生まれの方

指導:日本医師会感染症危機管理対策室長 雪下 國雄

◆待合室等に掲示し、患者さんにおみせください。